



答弁中の中嶋町長



御手洗 寿乃 議員

# 一般質問

# ここが聞きたい!!

## グループホームの設置 運営法人への支援を図る



吉本 實 議員

**■問**  
須恵町内にグループホームをぜひつくっていただくようにお力をお貸し下さい。  
我が町には障がいの内容がさまざまな方が随分いらつしゃるのではと思いますが、町の方では解かっていると思います。これらの障がい者の方々の両親が先に亡くなった場合の事を考えると先々はどうなるのだろうかと思人たたちも不安だと思えます。  
兄弟姉妹がいても先では自立しなければなりません。  
そうなることやほり施設が欲しいのが現状です。

**■答** 吉松福祉課長  
一日も早く実現させていただきたいのです。入所しての費用は年金等を利用できるのではと思います。  
須恵町における障がい者施設入所者は平成二十年六月現在で三十人おられます。  
現在入所しておられる方のうち平成二十三年度までに五人がグループホームやケアホーム等に移行することが見込まれています。  
また、本町には柚の木福祉会運営のグループホーム「カムカムホーム和(なごみ)」があり、四名が入所して生活しておられます。  
7月には、一名が就職されるといことで門出式が行われると聞いております。  
町におけるグループホームの実現については、建物や人材確保等に要する相当な額の財源が必要



柚の木福祉会が運営する現在増築中のグループホーム「カムカムホーム和(なごみ)」

となつてくるため、平成十九年度に策定しました「須恵町障害福祉計画」でも示しているとおあり、財源の確保ができる範囲での広域的な調整を図り、運営法人への運営支援を

図りたいと考えています。今後、障害者自立支援法の経過措置が終了する平成二十三年度末までに新体系への移行を促進したいと思っております。

**■問**  
内原～大谷線道路の整備事業もいよいよ大詰めをむかえています。道路が完成しますと今でさえ交通量の多いのが益々多くなるのではないかと懸念されます。  
もともと赤坂・尾黒地域は住居地域で生活道路としての意味合いがあったのですが、近年は篠栗方面の道路として日量二千五百台と聞いております。  
住民ばかりでなく東中の生徒たちも通ります。車の事故や人身事故もおきています。  
早急な対応が望まれますが、どうお考えか。



篠栗町へ抜ける内原～大谷線へつながる松ヶ音～大谷線

**■答** 中嶋町長  
ご質問の道路は町道の松ヶ音～大谷線で、篠栗へ抜ける内原～大谷線の改良が進み完成すると交通量も増えることが予測されますが、篠栗側の工事が進んでいないため、ここ十年ぐらいは影響はないのではと思っております。この道路は、平成十一

年度に地元からの要望を受け局部改良、また時間帯の一方通行等の交通規制を行つております。平成十六年度には、速度規制を行い歩道がつくられないことから路側帯を整備。  
平成十九年度は柏屋署と合同により「ペイント

作戦」ということで路上に色をつけ注意を促すようにしています。それに伴い、交通量の緩和や車両の減速効果というものが非常に上がつています。  
町としましてこの道路については一応改良済みという結論ですが、住宅地内を通る道路であるし、通学路であるということも考慮し、あと三～四年はかかると思われていますが内原～大谷線の改良と併せながら篠栗方面から松ヶ音～大谷線の取付道路の改良を予定しています。さらなる対応として、道路標識や路面標示等を考えていきたいと思っております。

## 危険がいつぱい 赤坂・尾黒地域の道路

## 内原～大谷線改良に併せて 改良予定